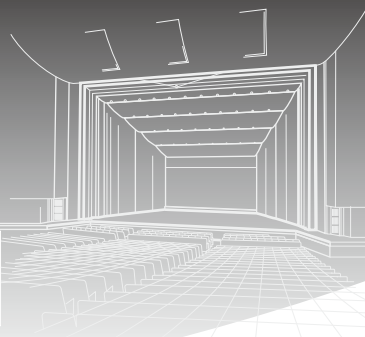


九州大学大学院 芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア(HME)育成ユニット



平成
21年度

HME特別講義 全6回

劇場・ホールの世界を究める“課外授業”

九州大学大学院芸術工学府に昨春開講した「ホールマネジメントエンジニア育成ユニット」は、劇場・ホールなどの文化施設で専門職人材の調整統括の役割を果たす人材の育成を目指した教育プログラムです。ソフト・ハード両面から総合的に学習できる正規カリキュラムに加え、さらに幅広い知識を深めるための「HME特別講義」を昨秋に引き続き開講いたします。多岐にわたる劇場・ホールの世界を6回にわたって学ぶHME育成ユニットの“課外授業シリーズ”。皆様の受講をお待ちしております。

一般聴講
歓迎

第1回 9.29 (火) 19:00～21:00

実演芸術と著作権・契約

講師：福井 健策（弁護士/日本大学芸術学部 客員教授）

音楽、演劇、伝統芸能など実演芸術の制作において必要不可欠な著作権と契約。メディアの発達により、近年特に注目されている著作権の基礎から契約上の留意点まで、事例をもとにコンパクトに紹介。劇場・ホールにおける創造的な実演芸術の基本知識を学ぶ。

第2回 10.13 (火) 19:00～21:00

舞台美術の仕事

講師：堀尾 幸男（舞台美術家）

オペラ、現代演劇、ミュージカルなどジャンルを超えて舞台美術の影響力は大きい。舞台美術家は、作品と演出家の意図に応じて何も無い空間に構築物を出現させ、登場人物の動きに立体感を持たせて観客を作品の世界に誘い込む。観客の想像力を挑発する舞台美術家の世界を学ぶ。

第3回 10.27 (火) 19:00～21:00

ステージ・マネージャーの仕事

講師：猪狩 光弘（サントリーホール ステージ・マネージャー）

コンサートの裏方の中心として支えるステージ・マネージャー。楽器・椅子・譜面台の配置、段取り良いリハーサル調整、温度・湿度管理、フロントスタッフとの連携、演奏家が集中できる気配り等幅広い仕事内容を紹介。打合せ表片手に棋士のように先を読むステージ・マネージャーの極意を学ぶ。

第4回 11.10 (火) 19:00～21:00

地域の公立文化会館の仕事

講師：黒田 洋一（サザンクス筑後 館長）

開館から15年を迎えた公立文化施設サザンクス筑後（福岡県筑後市）。人口5万人弱の地域で、住民を巻き込んだ自主文化事業や稼働率の高い貸し館事業など、地域に根ざした取り組みを続けてきた事例を参考に、職員の雇用環境整備・施設管理改修・予算交渉など多岐にわたる公立文化会館の仕事学ぶ。

第5回 11.24 (火) 19:00～21:00

劇場で培われる対話力

講師：平田 オリザ（劇作家・演出家・大阪大学教授）

対話力やコミュニケーション力の向上が教育界のみならず多方面で重要視されているなか、劇場におけるその必要性を考える。創造的な舞台づくりの重要性や劇場の存在意義を探りながら、独自の演劇教育理論に基づく社会活動で高い評価を得ている現代演劇の第一人者による「劇場論」を学ぶ。

第6回 12.8 (火) 19:00～21:00

公共劇場の使命と運営の仕事

講師：高萩 宏（東京芸術劇場 副館長）

指定管理者制度の下で、大きく揺れ動く公共劇場に焦点をあて、その使命（ミッション）を点検し、運営の仕事について解説する。予算編成、財務管理、資金調達、雇用環境整備など経営的視点に立った業務の現状と課題を見ながら、舞台芸術系の公共劇場の理念から実践までを学ぶ。

◎会場（6回共）：九州大学 大橋キャンパス 5号館 511教室（福岡市南区塩原4-9-1 / 西鉄大橋駅東出口より徒歩5分）

◎受講料：無料（要事前申込） ◎定員：各回100名（定員になり次第、受付を終了させていただきます。）

◎申込み方法：Webサイト*の申込みフォームからお申込みください。* <http://hme.design.kyushu-u.ac.jp>

※Faxでお申込みの場合は、①氏名(かな)、②所属、③〒・住所、④Tel&Fax、⑤E-mail、⑥参加講義日を明記のうえ、HME推進室(Fax 092-553-9459)までお送りください。

◎対象：本学HME育成ユニットの学生を対象とした講義を広く劇場・ホール運営に関心のある学生や一般の方に開放いたします。

主催：九州大学大学院芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア育成ユニット / 後援：福岡市、(財)福岡市文化芸術振興財団



九州大学大学院 芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア育成ユニット

〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1 URL: <http://hme.design.kyushu-u.ac.jp>

Tel&Fax: 092-553-4552 (HME事務局) Tel&Fax: 092-553-9459 (HME推進室)

講師プロフィール

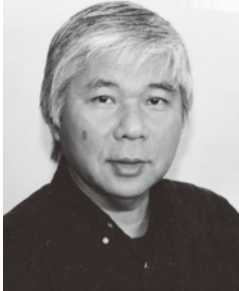
第1回 (9/29) 実演芸術と著作権・契約



福井 健策 ふくい・けんさく (弁護士 / 日本大学芸術学部 客員教授)

1965年生まれ。弁護士(日本・ニューヨーク州)。神奈川県立湘南高校、東京大学法学部卒業。米国コロンビア大学法学修士課程修了(セゾン文化財団スカラシップ)。2003年骨董通り法律事務所 For the Arts を設立。著書に「著作権とは何か 文化と創造のゆくえ」(集英社新書)、「エンタテインメントと著作権」シリーズ~①ライブ編 ②映画・ゲーム編 ③音楽編 ④出版・マンガ編~(編者・社団法人著作権情報センター)ほか。東京藝術大学非常勤講師。「著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム」世話人。http://www.kottolaw.com

第2回 (10/13) 舞台美術の仕事



堀尾 幸男 ほりお・ゆきお (舞台美術家)

1946年広島県生まれ。武蔵野美術大学卒業。69年大学在学中に西ベルリン造形大学舞台美術科に留学。81年(株)HORIO 設立。手掛けた舞台美術は数多く、中島みゆき「夜会」、野田秀樹演出「キル」、蜷川幸雄演出「ロミオとジュリエット」、三谷幸喜「オケピ!」、東宝ミュージカル「エリザベト」、新国立劇場オペラ「蝶々夫人」など枚挙にいとまがない。1996年、1999年に第3回および第6回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、2000年に第34回 紀伊國屋演劇賞個人賞、08年に第7回朝日舞台芸術賞受賞などを受賞。

第3回 (10/27) ステージ・マネージャーの仕事



猪狩 光弘 いがり・みつひろ (サントリーホール ステージ・マネージャー)

1953年北海道生まれ。72年上京し、日本のステージ・マネージャーの草分け的存在・宮崎隆男氏のもとを訪ねる。同年、東京交響楽団のステージスタッフとして入団。79年新日本フィルハーモニー交響楽団にアシスタントステージ・マネージャーとして入団。86年新日本フィルハーモニー交響楽団ステージ・マネージャーに就任。オーケストラのステージ・マネージャーとして全国各地の劇場・ホールでの地方公演にも数多く同行した。2001年サントリーホール三代目のステージ・マネージャーに就任、現在に至る。

第4回 (11/10) 地域の公立文化会館の仕事



黒田 洋一 くろだ・よういち (サザンクス筑後 館長)

1943年福岡県生まれ。64年筑後市役所入所。40年間在職中、広報、社会教育を主に勤める。社会教育時代サンコア(勤労婦人センター)、サザンクス筑後の建設を担当。特に、サザンクス筑後では用地買収から担当。2004年筑後市役所退職とともにサザンクス筑後館長(財団法人 筑後市文化振興公社 常務理事)を務める。04年NPO法人 文化施設支援機構を設立、現在代表理事。

第5回 (11/24) 劇場で培われる対話力



平田 オリザ ひらた・おりざ (劇作家・演出家・大阪大学教授)

1962年東京都生まれ。劇団「青年団」主宰、こまばアゴラ劇場芸術監督、東京芸術文化評議会評議員、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。95年「東京ノート」で第39回岸田國土戯曲賞受賞ほか受賞歴多数。フランスを中心に世界各国で作品が上演・出版されている。演劇はもとより教育、言語、文芸などあらゆる分野で活躍。近年は、国語教科書に掲載されている独自のワークショップ方法論により、自治体やNPOと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、多角的な演劇教育活動を展開している。

第6回 (12/8) 公共劇場の使命と運営の仕事



高萩 宏 たかはぎ・ひろし (東京芸術劇場 副館長)

1953年東京都生まれ。東京大学文学部卒業。米国コロンビア大学アーツ・アドミニストレーション・プログラム中退。大学在学中の76年、劇団夢の遊眠社創立に参加。退団後、東京グローブ座のオープニング・フェスティバル、英国で開催された「ジャパン・フェスティバル1991」、TOKYO 演劇フェアなどに関わる。パナソニック・グローブ座支配人、世田谷パブリックシアターゼネラル・プロデューサーを経て現職。現在、多摩美術大学客員教授。著書「僕と演劇と夢の遊眠社」(日本経済新聞出版社)。